



Ren

富山市PTA連絡協議会広報紙 第92号

PTAこんなことやっています！

2・3P

年間特集 もう一度考えてみよう！

子どもの安全「心のケア編」

4・5P

市P連こんなことやっています！

6・7P

親学び



堀川中学校T日会
塩原 洋

堀川中学校は生徒数980名で先生方を含めたPTA会員は1000名を超える、富山市でも最も大きな規模の中学校で、PTAは「T日会」という名称のもとで活動を行っています。

本校は平成25年度よりコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)のモデル校に指定されています。コミュニティ・スクールの目的は、学校と保護者や地域の皆さんが協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域と共にある学校づくり」を進めていくということにあります。その観点からも、親自身が

学ぶ姿勢を示していく親学び講座の導入はT日会の事業としてふさわしいとの見解に至り、平成26年6月20日(金)に本校第一体育館において、ファシリテーターとして「とよま親学び推進リーダー」の水上雅博氏と畠清枝氏をお迎えして「第1回親学び講座」を開催しました。

当日は予想を大きく上回る75名の保護者の方々にご参加いただきました。

15テーブルに分かれてのグループワークで、ファシリテーターの司会進行により、まずは工夫を凝らした自己紹介からはじまりました。次に、ある日の親子のエピソードを題材に、親子や夫婦の会話について各グループで活発な意見交換が行われました。この講座を通じて、思春期の子を持つ親同士が日頃の悩みや不安を打ち明け合える場となりました。

終了後のアンケートでは、「いろいろな方の意見や考えが聞けて良かった」「自分だけの悩みではないと安心できた」「子育ての不安が解消できた」などの声が多く聞かれました。

T日会では今後も継続して親学び講座を開催していく予定にしています。



「親学びとは？」
富山県親学び推進リーダー
監事 水上 雅博

子育てに不安や疑問はつきものです。迷った時、困った時親としてどう対処しているのか悩むことが多々あります。今では誰もが子育てに関する情報を手軽にインターネットで検索することが出来ます。しかし、一方的な情報はかえって戸惑いや、焦りを生む一因ともなっています。身近に相談できる人がなく、「孤立化」していく親が増える中で、親自身が子育てに向き合い、気づき、そして自ら学ぶ姿勢が求められています。私たちが推奨する「親学び」は日常ありがちなエピソードをもとに、こんなときはどう思うか？どう対処するか？を親同士で気軽に話し合うものです。自分と同じ意見に安心し、自分と異なる意見に気づきをもたることが出来ます。多くの参加者から、「気持ちに楽になった」「これから頑張れる気持ちになった」「子育ての役に立ちそう」などの感想をいただいています。まだ経験されていないPTAの皆様に自信を持ってお勧めします。

PTAいっしょやっていますね!!



親子がふれあう恒例の

pa, pa キャンプ

..... ● 大広田小学校

7月26日・27日に「第13回 pa, pa キャンプ」を開催しました。pa, paの会のお父さんたちが工夫を凝らした、水鉄砲で相手チームの紙風船を落とす「ウォーターファイト」や、靴飛ばしでギネスに挑戦する「シューズアタック」、学校の謎を解き明かす〇×クイズや、みんなが楽しみにしている流しそうめんをグループに分かれて楽しみました。

夕食に、カレーライスを作りおいしくいただいた後、夜はお父さんたちがお化けに変装した「肝試し」をして楽しみました。1日目のイベントをすべて終え、各家庭から持ち寄ったテントの中でワクワクしながら就寝しました。

明け方からの雨で2日目のイベントは中止となつてしまいましたが、今回のキャンプも親子の絆を深めるよい思い出となりました。



吹き矢で交流

..... ● 古沢・池多小学校

10月12日(日)に、古沢小学校・池多小学校合同のPTA親子活動を行いました。この交流は、両校の子どもたちの多くが呉羽中学校で学ぶことになることから、小学校のうちから、親子ともども理解と親睦を深める機会になればとの思いで毎年行っているものです。

今年には池多小学校の担当で、参加したのは、両校の5・6年生の子どもたちを中心に保護者と先生方です。

開会式の後、子どもも大人も両校混合のグループに分かれ、スポーツ吹き矢を通じて交流しました。初めはよそよそしい感じでしたが、競技が始まると、的に矢が当たる度に一

喜一憂して歓声が上がりました。次第に、どのようにしたら的によく当たるかをアドバイスし合ったりするなど和やかな雰囲気になってきました。

そして、吹き矢を楽しんだ後は、池田小学校PTAの女性役員が心を込めて作った特製カレーをおなかいっぱい食べました。

心も体も大満足の一日となりました。



ふるさとふれあい 交通安全もちつき大会

..... ● 五福小学校

「もういっしょくつ寝ると、お正月♪」楽しい歌声とともに、「ふるさとふれあい交通安全もちつき大会」が12月7日(日)に開催されました。児童や地域の方々約300人が参加したこの会は、ふるさとづくり推進協議会と児童クラブが共催し、地域の三世代の交流を深めながら、交通安全意識も高めるものです。

おもちは、5年生が米作り事業で育てたもち米を使って杵と臼で作ります。地域のおじいさん、おばあさんにつき方、返し手を親子で教わりながらもちつきします。できたおちは、あずきやきな粉をつけてみんなでおいしくいただきました。

また、五福交番の所長さんから交通安全についての講話もいただき、事故防止を呼びかけました。

このほか、たこあげ大会やわりばし鉄砲大会も行われ、一足早く昔ながらのお正月の雰囲気を楽しみました。



蹴ろっ！作ろっ！楽しいよ！

● 興南中学校

12月13(土)、カタール富山サッカー教室とX,massリース作りをふれあい活動として開催しました。

体育館では、カタール富山育成コーチの方々により熱い指導が行われました。生徒たちは、プロの指導による一歩進んだサッカーを感じ取っていたようです。



木工金工室では、マナコフラワーアレンジメント教室の古邸明美先生を講師としてお招きし、オリジナルX,massリース作りを行いました。講師の指導を受けつつ、慣れない手つきながらも親子ふたりで協力し合って完成を目指しました。最後の飾りつけが完了すると、みんなで壁にリースを掛けてみました。とてもすてきな仕上がりに、みなさん大満足でした。



サッカークラスとX,massリース作りの二本立てというちよつと盛りだくさんのふれあい活動でしたが、生徒たちの汗と笑顔を感じることができました。

ご指導頂いたカタール富山のみなさん、古邸明美さん、ご協力ありがとうございました。

元旦マラソン

● 寒江小学校

「あけまして、おめでとうございませう。」

スタート地点の寒江公民館で新年の挨拶が交わされる中、平成27年1月1日、第30回寒江地区元旦マラソン大会が、ふるさとづくり推進協議会及び体育協会、寒江小PTAの共催で行われました。

寒江小学校の子どもたち50人と地域の人たち30人の総勢80人が大会に参加しました。一年生から四年生の子どもたちが1キロコースを走り、五年生と六年生が3キロコースを走りました。地域の人たちは子どもたちと一緒に走ったり、沿道から声援を送ったりして、子どもたちを見守りました。

雪が降る寒空でのマラソン大会でしたが、参加した人たちは、みんな一生懸命に完走目指して頑張っていました。寒さも手伝って、子どもたちは身も心も引き締まった様子でした。これからも続けていきたい寒江地区の恒例行事です。



「書道の上達を願って」

● 八尾小学校

1月17日(土)、残雪の残るグラウンドで左義長が行われました。PTA男性役員が前日のうちに、学校近くの竹やぶから竹を切り出し、大きな左義長を組み上げました。

当日は、登校してきた子どもたちが、正月飾りや書き初めの作品を持ち寄ります。それを左義長に飾り付け、代表児童が点火しました。

雪の降る中、大きな炎が燃え上がり、子どもたちの歓声と願いの中、書き初めの作品も煙とともに大空高く舞い上がりました。

教室に戻った子どもたちは、PTA女性役員が早朝から準備したせんざいに舌鼓を打ち、冷えた身体を温めます。中にはおかわりを注文する児童も…。

書き初めの紙が高く舞い上がると、書道が上達するともいわれる左義長は、子どもたちの思い出に残る八尾小学校の伝統行事となっています。



の安全

～心のケア編～



いじめ

こどもいじめテレホン相談(富山市教育センター)
☎076-431-0099

平日8:30~17:00
※相談員は土、日曜、祝日、お盆(8/13~16)、年末年始(12/28~1/4)休み
いじめに関する相談がある場合は、子どもだけではなく保護者の方も
ご相談下さい。専門の職員が対応します。

いじめ110番(富山中央警察署)
☎0120-32-7867 平日 8:30~17:15

少年のいじめに関する相談。

いじめ相談(富山県総合教育センター)
☎076-444-6320 毎日24時間
学校・教育機関に関わるいじめ相談専用。

生活

生活の安全に関する相談 110番(富山県警察本部警察安全相談室)
☎076-442-0110 毎日24時間

犯罪被害に関する相談(とやま被害者支援センター)
☎076-413-7830 平日 10:00~16:00

消費生活相談(富山県消費生活センター)
☎076-432-9233 平日 8:30~17:00
(火曜日のみ20:00まで)
インターネットによるトラブルも受け付けます。

子育て

子育てほっとステーション(富山市子育て支援センター)
☎076-444-1110 毎日24時間

身体や心の発達、子育ての悩み。

子どもに関する相談(発達・養育)(富山児童相談所)
☎076-423-4000 平日 8:30~17:15

子育てテレホン(県)
☎076-422-5110 毎日24時間
0~18歳の子育て全般について、相談に乗ってくれます。お気軽にどうぞ!

て下さい。)

安全相談室)
30~17:15
相談室)
9:00~16:00
ター)
10:00~17:15

法律・なやみ・女性のためのからだ相談
(富山市男女共同参画推進センター)
☎076-433-1760
弁護士による相談 毎月第3金曜日 13:30~15:30
臨床心理士による相談 偶数月第2土曜日 10:00~12:00
産婦人科医による相談 奇数月第4水曜日 14:00~16:00
奇数月第4火曜日 15:00~16:30

富山県ひきこもり地域支援センター
☎076-428-0616
平日 8:30~12:00 13:00~17:00

多重債務(富山県消費生活センター)
☎076-433-3252

小児救急電話相談(県厚生部医務課)
☎局番なしの【#8000】又は【076-444-1099】 受付時間 毎日19:00~9:00

子ども

もう一度考えてみよう!



近年、子どもたちを取り巻く環境はとても複雑になってきました。子どもたち、保護者に降りかかる問題も、以前とは比べものにならないくらい多様化しています。そんな私たちのために、様々な相談窓口が設けられています。悩みや不安があったら、自分ひとりでかかえこまず気軽に電話してみましょう。



全
般

こどもホットライン(県教育委員会生涯学習・文化財室 青少年指導班)

☎076-443-0001 (電話、ファックス共通)

mail:kodomohl@tam.ne.jp

平日17:00~21:00、21:00以降は留守番電話対応

※相談員は土、日曜、祝日、お盆(8/13~16)、年末年始(12/28~1/4)休み

子どもたちの「友だち関係、自分の心や体、部活動、勉強や将来、スポーツ、文化など」の様々な悩みや質問について電話や電子メール、ファックスで相談に応じます。

青少年悩みごと相談(富山市少年指導センター)

☎076-444-3555 平日 8:30~17:15
土、日曜、祝日、年末年始(12/29~1/3)休み

青少年の様々な悩み・心配ごとについて、本人及び保護者等からの電話や来所(面接)による相談に応じ、助言・指導を行います。

ヤングテレホンコーナー(富山中央警察署)

☎0120-87-3415 平日 8:30~17:15

少年なやみごと相談。

子どもの人権110番

☎0120-007-110

心の健康センター(富山県心の健康センター)

☎076-428-1511 平日 8:30~17:15

心の健康についての不安や悩み。

わが家の連絡先 (ご自由に記入し)

そ
の
他

認知症ほっと電話相談(富山県高齢者総合相談センター)

☎076-432-6580 土・日曜日 9:00~17:00

職場の人間関係・過重労働等労働全般に関する相談(富山労働局総合労働相談コーナー)

☎076-432-2728 平日 8:30~17:15

なやみごと人権相談(富山市市民生活相談課)

☎076-443-2045 毎月第2・4金曜日 13:00~16:00

女性被害110番(富山県警察本部警察)

☎0120-72-8730 平日 8:30~17:15

女性・男性の生き方相談(県民共生センターサンフォルテ)

☎076-432-6611 火~土曜日 9:00~17:15

DV相談(富山市男女共同参画推進センター)

☎076-433-2210 火~金曜日 9:00~17:15

っていますか？

ことやっています！！



会長支援委員会

会長情報交換会

副会長 村上 賢治 委員長 五日市 静馬

平成26年6月21日(土) ホテルグランテラス富山において、富山市内小中学校93校のPTA会長を対象に、PTA会長情報交換会を開催し、中学校は21校、小学校は48校のPTA会長の方々に参加いただきました。

「いま、子どもたちのために何ができるのか」をテーマに掲げ、第1部は全体会として、コミュニケーションに関する理解を深めるために、講師に接遇研修パフスリーブ主宰の吉谷直美氏をお迎えして「コミュニケーションアップのために～思いやりのこころをかたちに～」と題して研修会を開催しました。

第2部は中学校は2つに小学校は4つにそれぞれ学校の規模別に分かれて情報交換会を行いました。日頃のPTA活動の中で感じている不安や疑問などを意見交換することで多くの学びや気づきを得ることができたようでした。さらに第3部は懇談会として、分科会毎に懇親を深める席を設けました。

事後のアンケート結果では95%の参加者より「大変良かった」「良かった」と回答いただいたことから、多くの皆さまのご協力のもと概ね好評のうちに終えることができたものと思っております。



ブロック支援特別委員会

ブロック会長会議

副会長 ブロック支援特別委員長 金谷幸則



昨年まで年間2回開催されていたブロック長会議を、今年は年間6回開催させていただきました。各ブロック長の皆様にはご負担が多かった事とは思いますが、参加していただいた皆様には心から感謝申し上げます。この会議を通して現在の各ブロックの状況や問題点、更には今後の課題や解決策など、多くの議論を深めることができ、ブロック間の情報共有の場ともなりました。また、市P連と各ブロックの距離が縮まりブロック長同士の横のネットワークが構築されたものと確信しております。今年の取り組みがスタートとなり、今後益々市P連と各ブロックの皆様と、またブロック長同士の絆が深まることを願います。



ブロック支援への取り組み

富山市PTA連絡協議会は、66の小学校と、27の中学校の単位PTAでなる県内最大の協議会です。規模が大きいがゆえに、全体の情報・問題の共有はなかなか難しいのが現状です。また一年ごとに役員が代わることも多く、引継ぎや人的な交流も少なくなっており、問題が未解決のまま先送りになっていることも多々あると思います。

そこで委員会が今年取り組んだのは市内に26あるブロックの支援です。まず一つ目は、ブロック長同士の横のネットワークの構築と各ブロックの情報共有のためのブロック長会議の充実です。昨年まで年間2回開催されていたブロック長会議を年間6回開催させていただきました。詳細はブロック長会議の記事にも書きましたが、ブロック長の皆様には本当にご協力いただき感謝申し上げます。二つ目に、各単位PTA間の情報共有のための各ブロック会議の開催支援です。26ブロックを5つの地区に分けて市P連から地区担当役員を置き、より情報の共有や人的交流を深めるべく、各ブロックで開催されるブロック会議に出席させていただきました。この2つの事業を通して、ブロック長の皆様を始め、多くの単位PTAの役員の皆様と意見交換をすることが出来ました。また、各ブロックや各単位PTAのかかえる問題点の聞き取りや、今年の市P連の活動の方向性をご理解していただくことが出来たと思います。今後ますます市P連と各ブロック・各単位PTAとが協力し合い、より良い活動になることを心から願います。

市P連 こんな



富山市小中学校長会との懇談会

8月27日(水)ANAクラウンプラザホテル

お互いの問題点など話し合い交流を深めていく懇談会です。はじめに市P連から6月のPTA会長情報交換会の内容について報告し、そのあと校長会から最近小・中学校の様子について、お話していただきました。

運動部の市内のレベルは県大会において34年連続1位。北信越大会でも優秀な成績を取っているが、問題点として、少子化に伴い運動部活動数の減少が懸念されていることについて意見を交換しました。

そのあと懇親会を行い校長先生方との親睦を深めました。年々参加される方が増えており、この良好な関係を継続していく事が重要と感じました。



参加者:小中学校長会役員22名 市P連役員23名 総務企画委員4名 合計:49名

富山市議会議員との懇談会

9月18日(木)富山電気ビル

市議会議員との懇談会では、4つの要望事項について回答していただきました。

①防犯について・「富山市防犯カメラ設置補助制度」があり費用の一部を負担している。防犯カメラの設置については、小学校の設置率が43%中学校の設置率が46%である。

②防災について・津波の備えについては小学校で39校、中学校で10校が避難誘導訓練を実施している。また、海岸部においては国・県・市の指針に沿って津波対策を進めている。

③少子化対策について・富山県では35人以下学級か40人以下学級を選択できるようにしている。統廃合化については、現時点で学校再編を検討している地域はない。

④教育予算について・教育予算の確保は難しいので地元議員と相談しながら行動してほしい。PTA等の後押しがあったほうが動き易い。

そのあと懇親会を行い議員の方々との意見交換をして、大いに親睦を深めました。



参加者:富山市議会議員役員12名 市P連役員23名 総務企画委員7名 合計:42名

富山市教育委員会との懇談会

10月28日(火)CICビル

市教育委員会の懇談会では、3つのテーマについて意見交換をしました。

＜第1分科会:学力向上＞

更なる学力向上のために必要なことは、子ども・教師・家庭のトライアングルが重要。H26年は小中9学年全てが良い成績であった。教員の資質向上に関する実習や講習を富山市で行っているが、家庭の教育力上昇でも学力は向上する。家庭がしっかりしていることや子どもたちを褒めることが重要。

親学び講座の拡大も必要でありPTA縦横の繋がりで話し合い推進することが課題である。土曜授業は市教委では考えていない。また放課後のあり方や、SNS等についての意見交換があった。

＜第2分科会:食育・健康＞

食文化や栄養知識について理解を深めること、また社会性を育てることが給食に繋がっている。

誰かと一緒に食べること、また料理(給食)を分け合うこと、そういうことで社会性を養う。早寝早起きと朝ごはんの関係、生活習慣にも少なからず影響がある。朝食を食べると成績が上がる。家庭と給食で一緒に手を組み最善を尽くすことが必要。また給食の献立や偏食からの肥満、給食室や事業者民間化、地産地消についての意見交換があった。

＜第3分科会:教育環境＞

学習環境の整備の中で、学校図書の実質や学校ICT(情報通信技術)化が重要であり、今後も計画的に整備する必要がある。通学路の安全対策としてスクールガード・リーダーが小学校は充実しているが中学校では先生や警察の方も協力している。小・中学校の正面玄関のオートロック錠の設置率は100%。防犯カメラの設置率は44%程度である。放課後の子どもかがやき教室については、指導員への教育を進め、新たな対応で健全育成事業を支援する。また防犯カメラのHDやオートロック錠の設置数場所、タブレット授業や35人学級についての意見交換があった。

全ての分科会で、参加者全員の子どもたちへの愛情・情熱が伝わってきました。今回の懇談会を通じて、子どもたちのために、市教委と保護者の更なる連携が必要だと感じました。

参加者:富山市教育委員会役員11名 市P連役員22名 総務企画委員10名 合計:43名



良書をすすめる会

良書をすすめる会では毎月1～2回の定例会を開催し、親子で読む読書推進の活動をおこなっています。

毎年数多く発行される児童書の中から、親から子に手渡したい良書を選び、年1回、リーフレット「おもしろい本みつけたよ」を発行することを活動の中心にしています。今年で17号になりました。リーフレットは富山市内の全小中学校に配布されています。また掲載した本を、冬休みに市立図書館で展示させていただいています。

本が好き、本の楽しみを子どもたちに伝えたいという方は是非ご参加ください。委員は学校を通じて募集しております。

ご不明な点は、市P連事務局までお問い合わせください。



第2回富山県PTA会員大会



『集い出会い 学び伝え 役に立つPTAを』
～ふるさと富山での豊かなふれあいを通して～
第2回富山県PTA会員大会 実行委員長 庄司昌弘

平成26年11月29日（土）富山国際会議場において1210名という多くのPTA会員の皆様にご登録いただき、第2回富山県PTA会員大会を開催致しました。当日は表彰者や関係諸団体の皆様にも多数ご参加いただき、盛況のうちに大会を終えることができました。その後の大懇親会も県内14地区から250名の登録をいただきました。この大会を通じ、新しい出会いや発見・学びの機会に恵まれました。皆様本当にありがとうございました。

「富山県内のPTA会員が一堂に会し、子どもたちの笑顔あふれる未来のために今できることを語り合い、そしてPTAの仲間同士がお互いの絆を深める機会を作りたい」そういう思いから一昨年初めてこの大会がスタートしました。

今、子どもたちは目まぐるしく変化する環境の中で、親である私たち以上に生きにくい時代を生きています。子どもたちが夢を持っていきいきと成長するために、私たちができる事とは一体何なのでしょうか？

「家庭・学校・地域」で私たちはいろいろな役割をいただき、助け合いながら生きています。PTA活動を進める中で私たち大人が人と人との繋がりを大切にしてお互いを思いやり楽しく活動すること、そして親の背中を見せることは子どもたちの成長にとってとても重要であると感じています。第2回大会のメインテーマ『-EN-J IN-』（エンジン・縁・仁・円陣）にはそういった思いを込めました。この大会を通じて県内のPTA会員が心一つにして、さらに活発な活動を推進されること、そして子どもたちが笑顔で健やかに成長することを心より願っております。



平成27年度

第3回 富山県PTA会員大会

11月28日(土)
富山県民会館

◆編集後記
今回の広報紙を通して、なかなかわかりにくい市P連の活動をより広く深く知っていただけたら幸いです。各小中学校行事紹介からは地域の特徴や伝統を再認識することが出来ます。年間特集4.5ページは各ご家庭で保存版として有効活用していただければありがたいです。
最後に多くの方々のご協力により広報紙「Ren」92号発行に至った事、この場を借りて深く感謝申し上げます。
広報委員長 水口 満

- 担当副会長 吉川 満博
委員長 門島 衛
副委員長 水口 満
委員 柴崎 信年、野城 修一、佐山 満、山長 満、青山 益広、森岡 政樹、長岡 俊一、飯倉 正和、飯塚 博史、竹島 志史、野村 代志、奥村 文範、宮田 洋之、相川 直幸、島浦 好伸、木村 亮一、山本 幸一、松本 ゆき、川井 宏文、柳井 香里、野口 忍生
- 芝園小、岩瀬小、(南部中)、(西部中)、(和合中)、(中央小)
- 芝園小、蜷川小、五福小、西田小、大田小、新庄小、豊田小、山室小、古沢小、池多小、水橋小、(西部小)
- 八尾小、音川小、船小、宮野小、福野小、興南小、四小、三小、水橋小、池多小、古沢小、山室小、豊田小、新庄小、大田小、西田小、五福小、西田小、大田小、新庄小、豊田小、山室小、古沢小、池多小、水橋小